

「環境白書」の刊行にあたって



本県は、多彩で美しい自然環境に恵まれており、私たちの暮らしや産業は、この健全で豊かな環境から多くの恵みを受け、育まれてきました。こうした貴重な財産を、持続可能なものとして将来の世代にしっかりと引き継いでいくことが、今の時代を生きる私たちの使命と考えています。

一方、気候変動や海洋プラスチック問題、生物多様性の損失などの地球規模の環境問題が深刻化していることから、地方においても、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ネット・ゼロ」、資源を効率的・循環的に有効利用する「サーキュラーエコノミー（循環経済）」、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現を目指す経済社会構造への転換が求められています。

このため、私は、県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」において、「脱炭素社会の実現に向けた地域づくりの推進」や「人と自然が共生する環境にやさしい地域づくりの推進」を重点施策として位置づけ、県民や事業者、関係団体、市町等と連携・協力のもと、暮らしに密着した地域脱炭素化、エネルギーの地産地消、循環型社会づくり及び自然の景観や多面的機能の保全・活用などの取組を積極的に進めているところです。

その推進にあたっては、「山口県地球温暖化対策実行計画」をはじめ、「山口県循環型社会形成推進基本計画」や「生物多様性やまぐち戦略」など環境に関連する重要な計画との整合を図りながら、あらゆる施策を総合的かつ計画的に実施し、「健全で恵み豊かな環境の保全と創造」の実現に繋げてまいります。

この白書は、山口県環境基本条例に基づき、本県の環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめた年次報告です。

本書を通じて、県民の皆様がふるさとの環境について理解と認識を深めていただく一助となりますようお願いいたします。

山口県知事
村岡嗣政

令和7年(2025年)10月

